



元島根県重症心身障がい児(者)相談員・学校評議員

堀田さん

- 障がいが重度であればあるほど、学校と家と病院の往復で行動範囲が限られてしまう中で、ありのままを受け入れてくれる地域の方がいることがとても嬉しかったです。
- 子どもの笑顔を原動力に、力許す限り、生まれ育った地域で暮らすことができると願い、様々な活動をしていました。
- 「まずは、知ってもらうこと」障がいのある本人にとっても、家族にとっても「地域とのつながり」は、安心感や居場所につながると実感できました。
- 障がいのある子ども自身が成長して、どのように人とつながり、社会で過ごすかを考えました。その子なりの人とのつながりや社会があることに気づかされました。



都野津町まちづくり協議会

事務局長

南口さん

- ニコニコ給食に江津高校神楽愛好会が来てくれました。若者の生き生きとした舞に、地域の皆さんが喜ばれています。
- 毎年年末の大掃除に来てくれており、地域にも浸透してきています。より身近に高校を感じています。
- まち迷路をつくるときに協力してくれました。江津高校は都野津のまちづくりを一緒にするパートナーです。



本町地区歴史的建造物を活かしたまちづくり推進協議会

理事 伊藤さん

- 「学校で学ぶ知識や技術はここまで使え、どう役立つのか?」「本物の教材から何を学び、何ができるようになるのか」を踏まえ、建築的なアプローチでまちづくりを目指す活動をしてくれました。
- 江津の街に工業高校があってよかったです。工業は地元就職の生徒も多いので、その後の活躍やつながりうれしいです。
- 定期的に町に訪れてくれることで地元の人たちにやる気が出ます。止まっていた空き家にも動きが出てきています。

地域ハ
人ハ
人ハ
人ハ
人ハ

生徒が「地域」と関わること

『アオハル 52』は島根県江津市にある県立高校3校が一緒に学校生活を楽しみ、学んでいく様子をお届けする情報誌です。今年度から江津高校、江津工業、江津清和養護の3校で“まちで学ぶ”を考えるチーム、“GO▶GOTSUコンソーシアム”が立ち

上がり、それぞれの特徴を活かしたプロジェクトを行っていきます。今回は、【生徒が「地域」と関わること】をテーマに、地域の方にコメントをいただきました。

江津高校



都野津駅100周年へ向けてイベント

「都野津駅100周年～世紀を超えて、未来につなぐ～」

都野津 × 江津高校 × 江津工業 × ポリテクカレッジ島根

ペンキ塗りワークショップ

ポリテク&江津工業の指導のもと、駅待合室の古くなった壁を、瓦の街をイメージして塗り替えました。



地域にお住いのさまざまな年代の方が、ペンキを塗りながら楽しく交流しました。

ペンキ塗り完成後はカフェ風のテーブルと椅子を配置し、100周年にむけて一新した駅の待合室ができました。



100周年カウントダウン「インスタ映え背景ボード」

江津高校美術部が描いた「インスタ映え背景ボード」の前で、イベントに会場いただいた方々に「100周年カウントダウン」撮影に協力していただきました。



小学生とクッキーづくり

江津高校保育プロジェクトで都野津駅100周年に向けて地元小学生と汽車などの型を使ったクッキーづくりをしました。

汽車の折り紙アートやクッキーづくりでは汽車の型をつかうことで、子供達にも都野津駅について少し興味を持ってもらえたと思います。

(近藤さん)



子供たちと遊んだり話したりすることはとても楽しく、以前よりも地域の発展に関心が高まりました。

自分たちの力で地域を盛り上げるイベントを企画・実践できて達成感を感じました。

(横田さん)

江津工業



江工生まちづくり2020

江津工業生が江津本町の活性化を進める!

地域と目標を共有し、協働を図る

昨年、先輩達が正統15年築の江津本町にある山辺荘を宿泊施設へとリノベーションしました。また、地域の方が本町の町歩きの際に休憩できるように東屋を製作しました。

私たち江工生まちづくり2020班は、今後ワーケーションなどを活用した事務所になる計画もある「ときわ印刷所」のリノベーションを引継ぎました。現在、間仕切り壁の設置と電気工事を行っています。電気工事に関わる生徒は在学中に第二種電気工事士の取得や第一種電気工事士に合格しており、現場では有資格者の教員が監督しています。実際の工事現場さながら建築コースと



電気コースの生徒がひとつの目標に向かって協働しています。さらに、現場や施工内容によっては専門業者の方に指導をいただき安全に作業を実施しています。

また、都野津駅・江津駅の100周年記念事業で江津高校生が使う黒板を製作した



り、跡市にある里山こども園「わたぼうし」の依頼でツリーハウスを製作したりと地域など目標を共有し、協働しています。

今後も地域の人々に喜んでもらえるよう精一杯頑張ります!



歴史的建造物修復班

建築大工技能士2・3級を取得しているこの班では、郷田コミュニティや有福温泉町から依頼を受け、神社の歴史的建造物を伝統的な宮大工の技術を使って修復しています。

江津清和養護



江津清和のスクールバスの紹介

グリーンで塗装されたスクールバスです。見かけたことはありますか? 毎日の通学支援で江津市内や近隣の市を動いたり、社会体験学習等で出かけたりする時に活躍しています。



その① バスの後方部には、座席がなく、車椅子4台分乗れるスペースがあります! 車椅子を固定して、安全に乗車できるバスです。

その② エレベーター(リフト)が設置されています!

バスの後方を開くと、車椅子がそのまま乗せられるエレベーター(リフト)が登場し、バスへの乗降がし易くなっています。

清和✽あれこれ



アクアスさんが夢を叶えてくれたよ

アクアス開館20周年企画に「貸切修学旅行の思い出を作りたい」という願いを採用して頂き小学部が修学旅行の夢を実現!! 普段、車椅子を使用していると、なかなか水槽の近くに寄ってゆっくりと観賞ができにくいのですが、たくさんの貴重な体験をさせて頂き、夢のような一日になりました。



将来の夢のプレゼン(清和養護学校×江津工業)

高等部の生徒がごねっと石見の方や江津工業高校の先生を招いて「将来の僕の思いについて」という題でプレゼンを行いました。身体障がいがあり、将来一般の人と同じように働けるか不安があるため、「化粧品の開発」を中心とした会社を起業することを考えていることを発表し、意見を伺いました。